

●施工後、必ずお施主様へお渡しください

施工説明書

取扱説明書

PRIME/SHEETシリーズ

折戸 (2枚・4枚折)

(ピポットタイプ 三方枠/四方枠)

<固定/スリム枠 85>

●施工の前にこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。

使用上の注意

- 扉の開閉は静かに行ってください。
乱暴に扱おうと扉が破損したり脱落する恐れがあります。
- 扉の把手にぶら下がったり、扉に持たれたりしないでください。
扉が破損したり脱落する恐れがあります。
- 扉に指をはさまないように把手を持って正しく操作してください。
特に小さなお子様には十分にご注意ください。
- ストーブ等の熱源を近くに置かないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

施工上の注意

- 本製品は屋内専用です。屋外や浴室等水がかかり部分や他の用途への使用はおやめ下さい。
- 枠セットや建具本体は立て掛けず、水平の状態でご保管してください。
- 枠を躯体へ取り付ける際は、必ず水平と垂直を確認してください。
- 枠をコンクリートやモルタルへの直付けはしないで下さい。
やむをえず直付けする場合は、枠木口と下地面の間に必ず防水処理をして下さい。
- 枠の組立、取り付けには同梱のビスを使用して下さい。
他のビスを使用すると、脱落や垂下がり等の原因となります。
- 施工中、建具本体は養生・保全し、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、
昼夜などで温度差の激しい場所には置かないで下さい。
- 塗り壁の場合は壁が十分に乾燥してから建具本体を吊り込んで下さい。
- 施工後は傷や汚れを防ぐ為に、ダンボールなどでしっかりと養生をして下さい。
- 部材が汚れた場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
注)シンナー、ベンジン、アルコール等の溶剤は変色・変質の原因となります。

部材・部品の確認

■部材・部品の構成内容

	部材・部品名	数量	備考
扉セット	扉本体	2枚折戸：1折 4枚折戸：2折	
枠セット	枠セット	1	3方枠：縦枠 2本/上枠 1本
	内寸定規	1(0)	(四方枠は下枠1本)
	上レール	1	レール取付ビス同梱
	穴キャップ	10	クッションキャップ Φ15.5*7.5
	振止め防止金具	1	4枚折戸のみ オス・メー式
	枠組み立てビス	4(8)	Φ3.3*40 ()は4方枠
	施工ビス SHEETの場合	2枚折戸：14本 4枚折戸：20本	ダントリ調整ビス L=55

	部材・部品名	数量	備考
把手セット	把手セット	2枚折戸：1 4枚折戸：2	
	把手ビス	2枚折戸：2 4枚折戸：4	M4*35

※J取手仕様には付きません

折戸金物リスト		
部 品 名	品 番	数 量
上部レール	HD-001	1
上部ガイド	HD-21	2枚折戸：1 4枚折戸：2
上部ピポット	HD-14	2枚折戸：1 4枚折戸：2
下部ピポット	HD-13	2枚折戸：1 4枚折戸：2
上部ピポット受金具	HD-11	2枚折戸：1 4枚折戸：2
下部ピポット受金具	HD-15	2枚折戸：1 4枚折戸：2
※ゴムストッパー	HD-12	2枚折戸：1 4枚折戸：2

※J取手仕様のみ

必要梱包

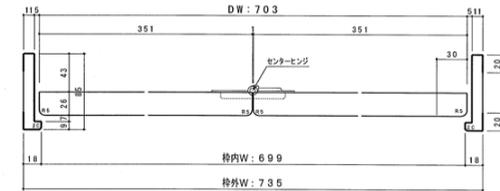
扉セット+枠セット(折戸金具同梱+把手セット)

納まり寸法図 固定枠85

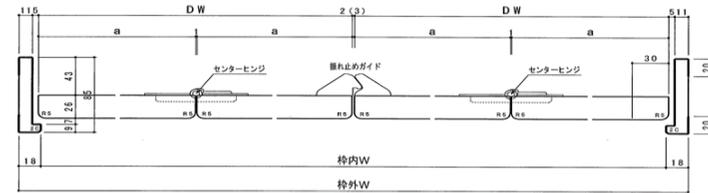
■寸法表(平面図)

	3尺	4.5尺	6尺
枠外寸法	735	1200	1645
枠内寸法	699	1164	1609
D W	703	583	805

2枚折戸



4枚折戸

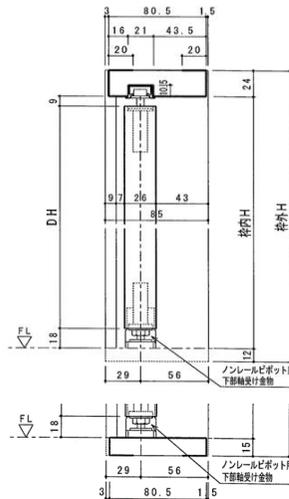


■寸法表(側面図 正面図)

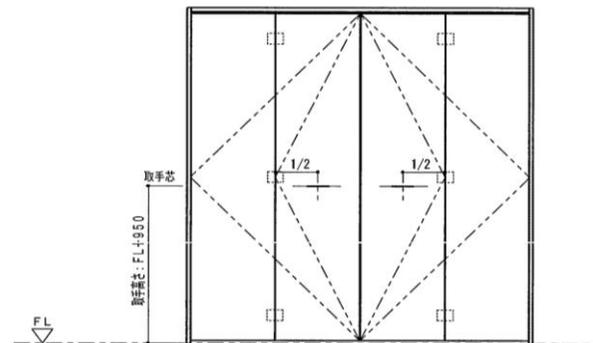
3方枠	20	22	24
枠外H寸法	2022	2222	2400
枠内H寸法	2000	2200	2376
D H	1973	2173	2349

床のみ込みは
+12

4方枠	20	22	24
枠外H寸法	2039	2239	2415
枠内H寸法	2000	2200	2376
D H	1973	2173	2349



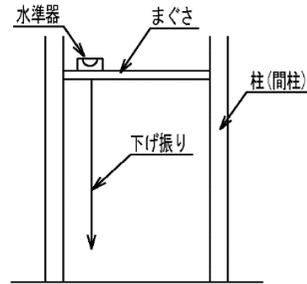
4方枠



施工手順 (ピポットタイプ)

準備

- 開口寸法に製品寸法を照合確認して下さい。
- 施工の際は下げ振り、水準器を利用し開口ぶ(まぐさ、梁、柱等)の水平・垂直・柱相互の前後の倒れが無いよう確認し、建具等を設置する開口部の幅、高さの寸法精度を十分に確認して下さい。



1. 枠の組み立て

- 縦枠、上枠を枠固定用ビス(同梱品)で固定してください。
- 縦枠と上枠にずれが無いことを確認して下さい。

・ 三方枠



・ 四方枠



2. 枠の取り付け

- 枠を開口部にはめ込み縦枠・上枠のリード穴から開口部(柱等)に木ビスで固定して下さい。
- 枠と調整材の間に接着剤を塗布して下さい。

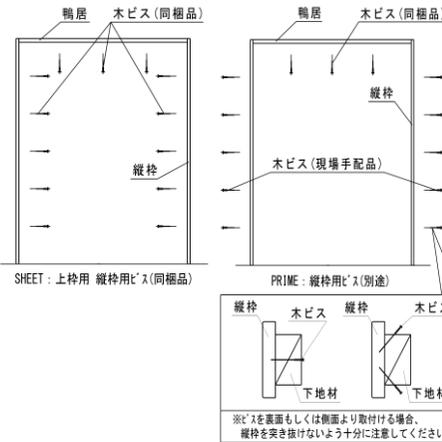
● 枠取付け寸法精度基準

建て入れ	: 誤差2mm以下
内法高さ・幅	: 差異2mm以下
建具枠と建具の空き	: 空き寸法の差異1mm以下
縦枠上下の内寸法	: 差異2mm以下

※建具の動作に支障をきたす恐れがあるため、上枠寸法精度を厳守して下さい。

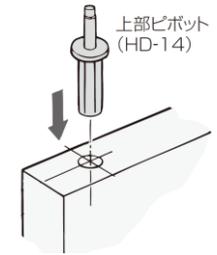
<注意>

縦枠のリード穴設定は、SHEETのみとなっています。PRIMEはリード穴が開いていないため、**下地の裏側**もしくは、**下地側面から斜めに木ビスを固定して下さい。**



3. 扉の金具取付け方法

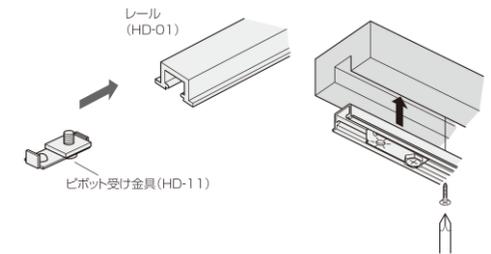
- 扉の吊元側の加工した穴に、上部ピボット及び下部ピボットを挿入します。



4. 枠の金具取付け方法

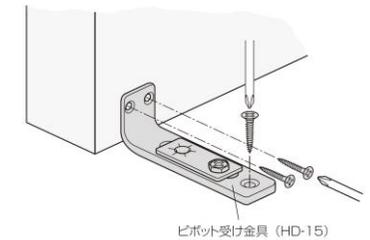
- レールの取付け
上レールを取付ける前に、ピボット受け金具を上レール内に挿入しておきます。

レールを取付けてください。



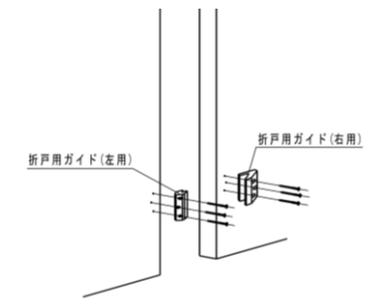
5. 下部ピボット受け金具の取付け方法

- ピボット受け金具を床(又は下枠)と縦枠に取付けます。



6. 折戸ガイド取付け方法

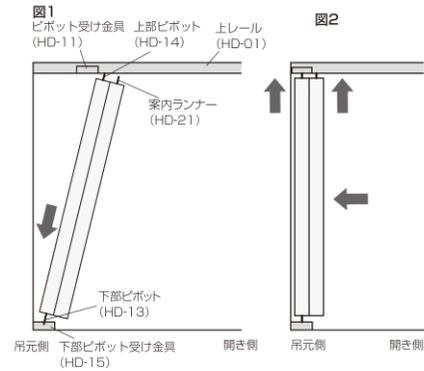
- 折戸ガイド金具をリード穴に合わせて取り付けます。左右を間違えない用に取り付けてください。



施工手順

7. 扉の吊り込み

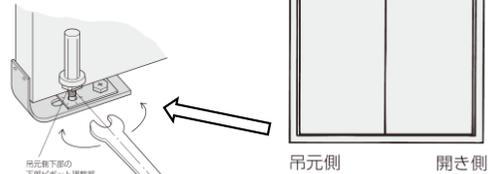
- ピボット受け金具は上レールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具開き側の方へずらしておきます。
- 戸を傾けて、下部ピボットをピボット受け金具に入れます。
- 図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボットを上レール内のピボット受け金具に、次に上の案内ランナーを上レールへ入れます。
- 吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をきねでしっかりと固定して下さい。



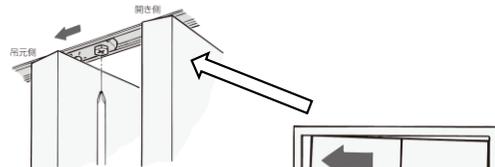
8. 扉の位置調整

- 扉の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合
下部ピボットで上下調整して下さい。

・扉を閉めたまま、下部ピボットの調整部を回すと、扉が上下します。



- J取手仕様の場合は、扉が折れきってしまうと手掛け部分の操作だけでは開かないことがありますので上レールにゴムストッパー(HD-12)を1折れに1個任意の位置で取付けて下さい。



- 扉が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合は、上のピボット受け金具を吊元側に寄せ、下のピボット受け金具を、開き側に寄せて調整します。

・これらに合わせて上部吊車も調整してください。



9. 養生

- 扉を壁に立てかけて保管しないで下さい。
扉が反る恐れがあります。

